

【施設状況】

グループ名称	障害者福祉施設(栗田園、ハーモニー桃の郷、ほたるの里)、障害者就労支援施設(ななせ仲まち園、ふたば園)、障害児通園施設(篠ノ井愛の樹園)、障害者支援施設(ひかり学園)									
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会						法人番号	5100005001689		
所管課	主	102000	障害福祉課	副						
構成施設	1421	栗田園				1422	篠ノ井愛の樹園			
	1416	障害者福祉施設ハーモニー桃の郷				1413	障害者支援施設(ひかり学園)			
	1415	障害者福祉施設ほたるの里								
	1411	ななせ仲まち園								
	1415	ふたば園								
施設分類	05	保健福祉・医療型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	【栗田園】作業室4、静養室3、相談室、更衣室2、職員室、事務室【ハーモニー桃の郷】作業訓練室4、浴室、洗濯室2、更衣室2、食堂、厨房、医務室 ほか【ほたるの里】作業室、作業室兼多目的室、静養室、更衣室、事務室兼相談室【ななせ仲まち園】作業室3、静養室2、食堂兼多目的室、相談室、更衣室2、事務室1【ふたば園】作業室、静養室兼多目的室、更衣室2、事務室兼相談室【愛の樹園】保育室、訓練室、食堂、静養室兼相談室、事務室【ひかり学園】居室46、短期入所専用室8、食堂、厨房、浴室1、特殊浴槽1、作業室6 ほか									
施設設置目的	【栗田園】障害者に対し、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、及び就労の機会を提供し、並びに障害児に対し、生活能力の向上のために必要な訓練を行うことにより、障害者及び障害児の福祉の増進を図ることを目的とする。【ハーモニー桃の郷】障害者及び障害児が、自立した日常生活又は社会生活を営むため、必要な支援を行うとともに、地域との交流の機会を提供し、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図る。【ほたるの里】障害者に対し、日常生活上の支援並びに創作的活動及び生産活動の機会の提供その他の身体機能又は生活能力の向上のために必要な支援等を行うことにより、障害者の福祉の増進を図る。【ななせ仲まち園】生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、また、就労の機会を提供することにより、障害者の就労を支援する事を目的とする。【ふたば園】生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、また、就労の機会を提供することにより、障がい者の就労を支援する事を目的とする。【愛の樹園】障害児が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、障害者の状況、並びに、置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。【ひかり学園】施設に入所する障害者等に対し、主として夜間において、入浴、排泄、及び食事等の日常生活上の施設入所支援を行うとともに、生活介護の施設障害福祉サービスを提供することにより、障害者等の福祉の増進を図る。									
基本方針等	【栗田園】利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援に努めるとともに、地域や家族との結びつきを重視し、利用者の所在する市町村、居宅支援事業者その他保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携を図る。また、生産活動の機会の提供にあたっては、利用者の心身の状況、意向、障害の特性を考慮する。【ハーモニー桃の郷】複合施設として、総合的に事業の連携を図り、障害者の日中活動支援と介護者である家族の負担軽減に努めるとともに、障害者が地域において自立した生活を送れるよう、安定した作業の確保と一般就労に向けた支援を行う。【ほたるの里】平成30年度に就労移行支援事業から生活介護事業を移行した経過があり、今後はより重度の障害を持った人の施設利用を想定するうえで、支援体制の整備を図る。【ななせ仲まち園】利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援に努めると共に、地域や家族との結びつきを重視し、利用者の所在する市町村、委託支援事業者その他保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者との連携を図る。また、生産活動の機会の提供にあたっては、利用者の心身の状況、意向、障害の特性を考慮する。【ふたば園】利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援に努めるとともに、地域や家族との結びつきを重視し、利用者の所在する市町村、居宅支援事業者その他保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との連携を図る。また、生産活動の提供にあたっては、利用者の心身の状況、意向、障害の特性を考慮する。【愛の樹園】児童の個性を尊重し、発達に応じた支援を行うとともに、保護者への子育て支援・相談を行う。【ひかり学園】利用者が安心・安全・快適に過ごせる生活環境の確保を基本とし、生きがい、楽しみを感じられる生活が送れるよう、個別支援計画を作成し、適切な支援を行う。また、サービス機能の充実を図り、利用者の利便性を高めるとともに、事業の効率化を目指す。短期入所事業においては利用者や家族の意思を尊重し、緊急時の入所機能の充実に向けたサービスの提供を目指す。									
主な実施事業	【栗田園】就労継続支援B型事業・放課後等デイサービス事業【ハーモニー桃の郷】重症心身障害者支援事業(生活介護、児童発達支援、放課後等デイサービス)・生活介護事業・就労継続支援B型事業・地域生活支援事業・交流ホールの貸し出し事業・相談支援事業【ほたるの里】生活介護事業【ななせ仲まち園】就労移行支援事業・就労継続支援B型事業【ふたば園】就労継続支援B型事業【愛の樹園】児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業・保育所等訪問支援事業【ひかり学園】生活介護事業・短期入所事業・施設入所支援事業									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		社会福祉法人長野市社会事業協会			当該指定管理者の 指定回数	1回	
指定期間		令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	令和3年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。						評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)						3

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		栗田園(就労継続支援B型)	人	34	32	30	29	97%	
		ハーモニー桃の郷(地域生活支援)	人	20	19	19	18	95%	
		ほたるの里(生活介護)	人	15	16	15	15	100%	
		仲まち園(就労継続支援B)	人	27	26	28	28	100%	
		ふたば園(就労継続支援B)	人	20	18	19	18	95%	
		愛の樹園(児童発達支援、放課後等デイ)	人	9	10	10	10	99%	
		ひかり学園(施設入所支援)	人	58	56	58	57	98%	
		(特記事項)							
事業 実 施 内 容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	【共通】施設及び設備の維持管理に関する業務 【栗田園】・就労継続支援B型、放課後等デイサービス 【ハーモニー桃の郷】・地域活動支援センター・交流ホール・生活介護・就労継続支援B型・生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス 【ほたるの里】・生活介護 【仲まち園】・就労移行支援・就労継続支援B型 【ふたば園】・就労継続支援B型 【愛の樹園】・児童発達支援・放課後等デイサービス 【ひかり学園】・生活介護・短期入所・施設入所支援			【愛の樹園】 ・発達支援指導(言語聴覚士による言語訓練、作業療法士による作業療法、理学療法士による理学療法) ・健康診断(内科・歯科) ・保護者向けの研修等の開催 ・放課後等デイサービスの利用が0人 当法人内に近隣で放課後デイ事業所を2カ所開設し、積極的に篠ノ井愛の樹園の卒園児について利用を促してきました。結果、篠ノ井愛の樹は児童発達支援の利用中心で事業が展開でき、より専門性を持って支援にあたる事が出来ています。				
	自主事業	【栗田園】・障害児自立サポート事業 【ハーモニー桃の郷】・居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護・障害児自立サポート事業・在宅障害者タイムケア事業 【ほたるの里】・在宅障害者タイムケア事業 【仲まち園】・就労定着支援 【ふたば園】・在宅障害者タイムケア事業 【愛の樹園】・保育所等訪問支援・障害児自立サポート事業 【ひかり学園】・在宅障害者タイムケア事業・障害児自立サポート事業							
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・通所ガイドブック、WAMネット及びホームページ等に事業所の情報を掲載 ・各事業所において毎月通信誌を発行 ・職員専門知識のスキルアップのため研修会に参加 ・利用者と共に納品先業者へ訪問し、企業と良好な関係を築いている							

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り		3
	(2) 調査、会議等の内容 【共通】 ・サービスの支給決定にあたり行われる利用者支援会議の場や、利用者及び家族との連絡ノート、電話、利用者ミーティングの実施等により把握している。 ・児童に対するサービスにおいては、法令に基づき、年に1回は保護者評価アンケートを行い、公表している。 【ハーモニー桃の郷】 ・指定事業ごとに利用者からのアンケート調査や意見箱を設置するとともに利用者支援会議や直接相談等で聞き取りを実施。 【ほたるの里】 ・毎週金曜日に当日通所した利用者全員を集めて「コーヒー」の会を開催し、利用者から要望等を聴く時間に充てた。また、年度末には来年度やってみたいことを自由に話す会を開催した。 【ひかり学園】 各月1回の支援会議・チーム会議・職員会議において全利用者の状況の把握に努めている			
	(3) 調査、会議等の結果 ・サービスの個別支援計画や目標設定の参考とし、ニーズに寄り添った支援を提供できるよう努めている。 ・外出行事に関して各事業所とも感染症対策を徹底の上実施した。ハーモニー夢まつりを開催した。(ハーモニー桃の郷) ・年度末の聞き取り調査の際、利用者から「畑で野菜を育ててみたい」との要望が多かった為、施設敷地内に菜園を作ることが決定した。(ほたるの里) ・コロナ禍により外出、旅行などは制限はあるものの、可能な範囲で実施を始めている。また感染対策を十分に行っているドライブや施設周りの散歩等実施した。(ひかり学園) ・保護者の面会、帰省等制限はあるものの継続している(ひかり学園)			
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 ・定期的な支援会議だけでなく、日々における面談や電話相談にて利用者及び家族の意見要望に真摯に向き合い、要望に対しての返答や改善に取り組んでいる。 ・個々の利用者の特性を的確に把握し、自分の気持ちを伝えられない方については、保護者等家族との会話を欠かさないよう配慮している。 ・同法人内の他事業所との連携により、利用者のニーズに応えている。 ・本人も通所を楽しみにしているし、送り出す親として安心して預けることができた。			3
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・職員の対応(職員の言動等)、支援内容について、要望や相談がある。 ・駐車場の要望 ・工賃を上げて欲しい。 ・建物や設備の老朽化による不便さを感じている(栗田園) ・女子トイレの手洗いの詰まりの解消と、蛍光灯の修繕をして欲しい(ななせ仲まち園) ・先生が療休することで普段の活動ができるか心配(愛の樹園)			
	≪対応措置≫ ・工賃は決算後に一時金として支給した。 ・施設の老朽化については市と相談した ・手洗いの改修を実施した。 ・職員の配置を考えた。			

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和6年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和6年度決算			令和5年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
収入	利用料金	512,234,000	利用料金	496,720,903	歳入	使用料	12,000	使用料	12,000		
	指定管理料	21,750,000	指定管理料	21,750,000		雑(納付金)	0	雑(納付金)			
	委託料	0	委託料			行政財産目的外使用料	0	行政財産目的外使用料			
	販売収入等	21,796,000	販売収入等	20,657,120		貸付料	0	貸付料			
	その他収入	22,714,000	その他収入	16,324,980		その他	0	その他			
	障害サービス事業収入	209,423,000	障害サービス事業収入	201,836,666							
	計	787,917,000	計	757,289,669		計	12,000	計	12,000		
	支出	人件費	546,642,000	人件費		536,252,435	歳出	指定管理料	21,750,000	指定管理料	21,750,000
		設備管理費	9,312,000	設備管理費		7,684,740		委託料	0	委託料	247,500
		備品購入費	4,786,000	備品購入費		4,311,210		需用費	0	需用費	
修繕費		9,720,000	修繕費	7,564,946	役務費	0		役務費			
光熱水費		34,517,000	光熱水費	32,629,028	使用料・賃借料	466,213		使用料・賃借料	466,213		
事業費		65,128,000	事業費	59,156,240	修繕費	0		修繕費	44,394,900		
事務経費		60,756,000	事務経費	56,752,021	工事請負費	49,783,860		工事請負費			
本社経費		22,545,000	本社経費	25,218,263	備品購入費	505,090		備品購入費			
その他		18,888,000	その他	11,634,769	その他	590,759,508		その他	595,161,738		
就労支出		21,780,000	就労支出	21,148,337							
計	794,074,000	計	762,351,989	計	663,264,671	計	662,020,351				
自主事業	収入	159,209,000	収入	169,895,386							
	支出	158,467,000	支出	159,719,680							
自主事業損益	742,000	自主事業損益	10,175,706								
損益	-5,415,000		5,113,386		差引	-663,252,671		-662,008,351			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和6年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									70.3%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				本部経費(人件費等)の実績により、再計算を行っているため。							

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

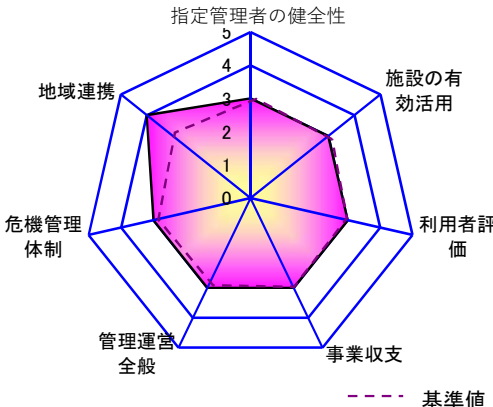
区分		確認内容	チェック欄	評価	
管理運営全般	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか		☒	3	
	職員配置 配置実績 (うち市内雇用職員数)	【米田園】カネサキ文庫5名(2名(11) 放課後等デイサービス1名(6)) 【ハーモニー桃の郷】生活介護7人(6)、重症心身障害者支援3人(2)、地域活動支援3人(3)、就労関係支援7人(7)、居宅支援6人(6)、相談支援11人(10)、嘱託医1人(1) 【ほたるの里】生活介護 15名(13名) 【ななせ仲まちな園】就労移行 4人(4) 就労継続支援B型 11人(11) 【ふたば園】常勤7名 非常勤3人 計10人 (8人) 【篠ノ井愛の樹園】児童発達支援 14人(11) 【ひかり学園】常勤35人(31人)、非常勤18人(17人) 計53人			
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか				
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		☒		
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか				
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いが適切に行われたか			☒
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか			☒
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか					
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		☒		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか				

計画・体制に基拠し記載していただく。				
危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか				

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
	【共通】 ・市内雇用や市内事業者からの物品購入を基本としている。 【栗田園】 長野市子どもの体験・学び応援事業「みらいハッ！ケン」プロジェクトを活用し、地域の大学生が運営するデジタルもののづくり体験やサッカーチームのコーチを招聘してのサッカー体験を行った。 【篠ノ井愛の樹園】 保育所等との併用利用児を積極的に受け入れ、発達支援を積みながら保育所等への一本化を行った。		

【総合評価】

【総合評価】					
総合評価	評価項目	評価	得点	総合評価	
	指定管理者の健全性	3	6	合計得点	
	施設の有効活用	3	6		
	利用者評価	3	12	62	
	事業収支	3	6		
	管理運営全般	3	12		
	危機管理体制	3	12		
	地域連携	4	8		
	評価理由	○施設の有効活用 【篠ノ井愛の樹園】 ・施設と保育園との併用児に対して支援を行い、9名の保育所へ一本化できたことは評価する。 ○事業収支 【ななせ仲まちなち】 ・就労移行支援について利用者にあった就職先を探しており、一般企業へ4名の利用者が就労に結び付いたので評価し今後も期待できる。 ○地域貢献 【栗田園】 ・地域連携について、市の「みらいハッ！ケンプロジェクト」を活用しものづくり体験やプロサッカーのコーチを招集しサッカー体験を実施し、利用者から好評を得ていることから評価「4」とした。			
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)		
	全施設、建設から20年以上経過しており、施設整備をはじめ更新時期になっている。	R6には、ハーモニー桃の郷の空調設備改修工事を実施	施設改修については、緊急性を十分に見極め、計画的に改修を進める。		
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・利用者や利用者家族のニーズに寄り添った支援の継続を図る。 ・利用率の向上に努め経営の安定を図る。 ・利用者への余暇提供、地域との交流機会増に取り組んでいく。				

指定管理者自己評価		
(1) 今年度の取組みに対する評価 ① サービス向上に向けての取組み 【ななせ仲まち園】 - 十分なアセスメントに基づいた、きめ細かな個別支援計画を作成し、利用者及び家族のニーズや意向に沿ったサービスの提供となるよう努めた。 【ハーモニー桃の郷】 - かがやき(生活介護)びあぼーと(重心対象多機能)の1F部分については、一体的な活動を行い、送迎、入浴、食事提供、行事等のサービスを提供した。外出に関しては、感染症に十分留意しながら少人数毎に実施をした。また、年間を通じて外部講師による機能訓練や音楽療法等の活動や、障害特性やニーズに沿ったプログラムを用意した。 【ひかり学園】 - 障がいの重度化、高齢化に伴い、身体機能の維持、健康管理に留意する為、毎週理学療法士によるリハビリを実施。また令和6年度より作業療法士による日常生活のサポート支援も実施。 【ふたば園】 - 障がい特性にあった作業種を導入し、働く喜びを実感することで意欲や自信につながる支援を提供した。 【ほたるの里】 - 日頃の支援でご利用者様の思いを聞き取り、ケース会議、職員会議を開催し、個々のニーズに沿った個別支援計画を策定。ご利用者様の意思及び人格を尊重し常にご利用者様の立場に立った支援に努めている。 【栗田園】 「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域とのつながりを明確化した個別支援計画の作成のための適切なアセスメントの充実を法人の放課後等デイサービス事業所全体で取り組み、計画を立案し支援に当たった。 【篠ノ井愛の樹園】 - 個別のニーズに対応できる専門性を高めるため、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士など専門職から日々の支援の助言をいただくとともに、職員の研修会を開催し資質向上に努めています。 ② 業務の効率化に対する取組み 【共通】 - 法人内のネットワーク環境を整え、情報を共有するとともに、関係機関と連携し迅速な対応ができるようにしている。 - 支援記録システムの導入により日誌・ケース記録等、記録作業にかかる時間の短縮を図り数年が経ったが、多くの職員が慣れてきており効率化が進んでいる。 - タイムカードによる勤怠管理の徹底により、時間内に業務が終了するよう時間配分に気を付けられるようになってきている。 【ひかり学園】 - 職員のチーム制を取り入れることにより、担当職員が不在でも、チームメンバーが利用者のフォローができるような体制にしている。また、職員がコロナ感染などで長期不在になってもチームでフォローできる体制を取ることで、利用者、職員の安心に繋がっている。 ③ その他 【ハーモニー桃の郷】 - コストの削減については、法人全体で取り組んでいる。パソコン、コピー機、携帯電話等事務機器の法人一括でのリースや各種消耗品等の価格情報の共有等、法人内に事務部会を設け取り組んでいる。 - 館内での節電、節水について事業所全体で意識して取り組んでいる。特に電気使用量についてはデマンド警報装置にてピーク使用の監視を行っている。		
(2) 指定管理者業務実施上の課題 【ななせ仲まち園】 - 作業室および事務所のエアコン、給湯器など、設備の故障があるもの、耐用年数を超えているものがあり、入れ替え等障害福祉課と相談しながら実施していく。 【ハーモニー桃の郷】 - 施設利用者の他、南部障害者相談支援センターなどの会議等による来館者が増えており、駐車場不足が深刻である。今の駐車場も更新できない見込みであり、早急に別の場所での確保が必要である。 【ひかり学園】 - 短期入所における課題(新型コロナウイルス感染症の感染対策をおこなうことで、利用率が伸びない、受入れのニーズに対応しきれない等)については、施設入所支援も状況も鑑み、現状の対応を継続していく。緊急性の高い方を優先的に可能な範囲での受入れを継続。 【ふたば園】 - 工賃アップの取り組みと重度障がい者に対する支援の向上。 【ほたるの里】 令和6年度平均利用率は81.7%となり、前年度比較で8.3%増加したが、令和6年度の報酬改定により、時間単位での報酬区分が設けられたため、平均利用率だけでなく、より細かく収支の状況をみていく必要がある。経営状況を安定させるためには新規のご利用者様の受入が必要であるが、建物の狭さ、構造上の理由により、受け入れが困難な状況となっている。今後の方向性について、長野市と協議していきたい。 【栗田園】 栗田園は施設の老朽化が進み耐用年数が過ぎている中、建て替えについては何の進展もない状況である。特に南棟(旧愛の樹園棟)の屋根・外壁の劣化が進行している。耐震診断もなされておらず、危険性の把握が出来ない状況である。栗田園利用者だけでなく放課後等デイサービスで障害をお持ちのお子さんが利用しており、安心・安全な環境で支援するのが難しいと考える。 【篠ノ井愛の樹園】 - 臨時職員を含めた職員数が14名になっています。隣接のふたば園は職員総数は10名です。勤務表上最大22名、平均20名の職員が出動しています。利用者用の駐車場を4台程度確保しますと、職員が止められる駐車スペースは14台程度になり、他は与えられた駐車スペース以外に停めざるを得ない状況になっています。勤務職員の確保は業務上絶対的な条件で、土地柄もあり賃貸できる駐車場はありません。是非とも駐車スペースの確保をお願いいたします。 - 建設47年になり、老朽化が激しいことと、現代の障害児支援の環境としてはあまり適切な物とは思っていません。少しでも支援環境を維持向上できるように手		
(3) 総合評価	評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る	指定管理者 自己総合評価 C
① 評価理由 【ななせ仲まち園】 - 年間の利用率は、【移行】前年度28.4%を上回り53.6%【継続B】前年度92.6%を上回り93.4%となり良好な利用状況である。決算状況における収支差額はななせ全体でプラス3,448千円の状況である。B型の平均工賃が15,000円を超えたことにより増収となった。経営状況は安定している。 【栗田園】 - 学校の長期休み期間中の活動で栗田園の就労部門や同一法人内の就労継続支援B型の事業所での作業体験をし、子どもたちの興味関心の幅を広げることが出来た。 ② 次年度以降の取組み 【ななせ仲まち園】 - 養護学校からの実習生の受入れなど、関係機関との連携を図り、新規利用者の確保に努める。 【ハーモニー桃の郷】 - 桃の郷内の事業を一体的に運営することで、人員配置や設備や備品等経費削減に努め、引き続き効率的な運営を行う。また、それぞれの福祉サービスに関し総合的に事業の連携を図り、福祉の増進を図る。 【ふたば園】 - 利用率の向上に努め経営の安定を図る。 【ほたるの里】 - 強度行動者のある方の支援の強化のため、設備面での充実(個室化への改修等)を長野市と継続的に協議していきたい。 - 設備面での課題を解決することで、新規利用者の受け入れを可能にし、経営の安定、更なる支援の充実に向け取り組んでいく。		